

第五回

 海女サミット 2014
in 志摩

平成26年10月25日(土) 26日(日)

主催：志摩市・海女振興協議会

目次

告知ポスター (B2 サイズ)	1
「海女サミット 2014 in 志摩」開催概要	2
記念放流	3
シンポジウム	5
報告「海女の現状と後継者」	5
パネルディスカッション「海女の後継者をつくるために」	5
海女と安倍昭恵さん・鈴木三重県知事との座談会	6
全国の海女交流会	8
海女サミット	10
開会	10
記念講演	11
ベテラン海女さんと語りましょう！！	12
ヤング海女さん大集合	13
大会アピール	14
閉会挨拶	14
集合写真	14
参考資料	
当日配布パンフレット	15
新聞掲載	23
お祝いメッセージをいただいた方々	26



海女サミット 2014

里海を守る 海女さんのつどい

in 志摩

岩手・宮城・千葉・畿内・川崎・浜松・和歌山・石川・福井・鳥取・山口
徳島・愛媛・長崎・佐賀・大分・熊本・宮崎
(韓国)

同時開催

志摩市誕生10周年記念企画展「志摩の海女さん」展
平成26年10月24日(金)～12月27日(土)
会場:志摩市歴史民俗資料館 展示室
(志摩市磯部生涯学習センター内)

平成26年10月25日(土)～26日(日)
第1日目(10月25日)
・記念放流 13:30～15:00(志摩市大正埵灯台下 須場の浜)
・海女シンポジウム 14:30～17:00(志摩市磯部生涯学習センター)
第2日目(10月26日)
・海女サミット 9:30～13:00(合歓の郷Hotel&Resort)
参加料:無料 定員:各日200名程度

要
申込み

■主催:志摩市・海女振興協議会
■後援:三重県・三重県教育委員会・鳥羽市・鳥羽市教育委員会・志摩市教育委員会・三重外湾漁業協同組合・鳥羽磯部漁業協同組合・志摩市商工会・鳥羽商工会議所・志摩市観光協会・鳥羽市観光協会・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構・中部地方環境事務所・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会
■協力:合歓の郷Hotel&Resort ■お問合せ先:海女振興協議会事務局(志摩市役所観光戦略室内) TEL:0599-44-0005 FAX:0599-44-5261
写真:古谷 千佳子

告知ポスター (B2 サイズ)

「海女サミット 2014 in 志摩」開催概要

【開催日】

平成 26 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）

【スケジュール（開催場所）】

10 月 25 日（土）

13:30～15:00 記念放流（志摩市大王埼灯台下 須場の浜）

14:30～17:00 シンポジウム（志摩市磯部生涯学習センター）

17:40～18:15 海女と安倍昭恵さん、鈴木三重県知事の座談会

（合歓の郷 Hotel&Resort ガーデンルーム）

18:30～20:30 全国の海女交流会

（合歓の郷 Hotel&Resort ボールルーム）

10 月 26 日（日）

9:30～13:00 海女サミット

（合歓の郷 Hotel&Resort ボールルーム）

【参加海女地域】

静岡県、山口県、京都府、福井県、千葉県、石川県、和歌山県、長崎県、福岡県、三重県、
韓国済州道（全 11 地域）

【参加者数】

記念放流 120 名

シンポジウム 160 名

海女と安倍昭恵さん、鈴木三重県知事の座談会 152 名

全国の海女交流会 175 名

海女サミット 184 名

【主催】

志摩市・海女振興協議会

【後援】

三重県・三重県教育委員会・鳥羽市・鳥羽市教育委員会・三重県外湾漁業協同組合・鳥羽磯部漁業協同組合・志摩市商工会・鳥羽商工会議所・志摩市観光協会・鳥羽市観光協会・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構・中部地方環境事務所・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会

【協力】

合歓の郷 Hotel&Resort

記念放流

平成 26 年 10 月 25 日（土） 13:30～ 志摩市大王崎灯台下 須場の浜

志摩市大王町須場の浜において記念放流を行った。全国各地と韓国済州道から海女さんや関係者 120 名が集まり、志摩市の海女 40 名がアワビの稚貝 5,000 個を放流する為、海に潜った。



海に潜る準備を整えた志摩市の海女さんと、全国各地や韓国済州道から集まった海女さんと関係者



大口秀和志摩市長による開会挨拶



来賓として、安倍昭恵内閣総理大臣夫人、武田美保三重県知事夫人、永富洋一三重県漁連会長、谷村志穂さん、韓国済州道からお越しの海女さん達 4 名の紹介を行った。



志摩市水産課の高橋より、用意したクロアワビの稚貝についての説明を行った。



集まった海女さん達の記念撮影



安さん、武田さん、谷村さん、済州道の海女さん、志摩市長による稚貝配布準備の様子



用意した2cm8mmのクロアワビの稚貝、5,000個



来賓の方々による稚貝配布



地元波切の海女さんを先頭に志摩市の海女さんが次々と海へ潜る様子



沖で潜り、海の底にある岩礁の隙間の外敵に襲われないような場所を探して稚貝を放流した。



日本各地と韓国の海女さんの記念撮影。



永富洋一三重県漁業協同組合連合会会長による閉会挨拶

シンポジウム

平成 26 年 10 月 25 日（土） 14:30～ 志摩市磯部生涯学習センター

海女の減少、高齢化、後継者不足は深刻な問題となっている。その根っこは単に、海女だけの問題でなく、漁村の女性減少そして漁村の人口減少の問題である。今回のシンポジウムでは、各分野の専門家をお招きし、海女に焦点を絞って後継者問題の解決策をテーマに報告とパネルディスカッションを行った。

報告「海女の現状と後継者」



石原義剛海の博物館館長による報告
「海女の現状と後継者」



県外の海女さんや関係者等約 164 名が参加

パネルディスカッション「海女の後継者をつくるために」



様々な立場のパネリストによる
パネルディスカッション

左から

【コーディネーター】

塚本明さん（三重大学人文学部教授）

【パネリスト】

川又俊則さん（鈴鹿短期大学教授）

植地基方さん（三重県漁業協同組合連合会

水産振興室室長）

和田康紀さん（三重大学人文学部准教授）

廣田恵子さん（三重県雇用経済部長）

石原義剛さん（海の博物館館長）

濱口ちづるさん（鳥羽市答志海女）



コーディネーターの塚本明さん（三重大学）。



海女の後継者をテーマとしたパネルディスカッションの様子。



記念放流から駆け付けた安倍昭恵さんの感想スピーチ

海女と安倍昭恵さん・鈴木三重県知事との座談会

平成 26 年 10 月 25 日（土） 17:40～ 合歓の郷 Hotel&Resort ガーデンルーム



座談会に約 140 名の海女さんが一同に会した。



鈴木英敬三重県知事から海女さんへの質問を投げかけた。



日本各地から集まった海女さんの発言の様子。



日本各地から集まった海女さんの発言の様子。



安倍昭恵さんからも質問があった。



韓国済州道の方からも発言があった。



石原義剛さんが進行役を務めた。



最後に海女代表の上村照美さんが「おねがい」を読み上げた。

全国の海女交流会

平成 26 年 10 月 25 日 (土) 18:30～ 合歓の郷 Hotel&Resort ボールルーム



大口秀和志摩市長による開会挨拶



安倍昭恵内閣総理大臣夫人による来賓挨拶



鈴木英敬三重県知事による来賓挨拶



海女振興協議会より、韓国済州道からのお客様に記念品の贈呈



韓国済州道の方による挨拶



安美貞韓国海洋大学教授に韓国の方の挨拶を通訳していただいた。



山本教和三重県議会議員による乾杯のご発声



恵利原早餅つき保存会による早餅つきの披露。飛び入りで早餅つき体験をする安倍さん



海女さん紹介。司会に県名を呼ばれて大きな声で返事をする海女さん達。



韓国済州道の海女さんによる歌の披露



地元志摩市の海女さんによる歌と踊りの披露



飛び入り参加で福井県の海女さんによる歌と踊りの披露



鳥羽市の海女さんによる歌と踊りの披露。安倍さんも一緒に踊っていただいた。



山下弘志摩市議会議長による閉会挨拶

海女サミット

平成 26 年 10 月 26 日（日） 9:30～ 合歓の郷 Hotel&Resort ボールルーム

日本各地や韓国済州道の海女さんや、関係者 184 名が参加し、海女サミットが開催された。記念講演では志摩市を舞台にした海女が主人公の小説「いそぶえ」の筆者、谷村志穂さんに、海女さんの人間として、女性としての魅力をご講演いただいた。その後の「ベテラン海女さんと語りましょう!!」では、三重県知事と江崎貴久がインタビューの進行役を務め、日本各地と韓国済州道の海女さんの代表者 19 名が登壇し、海女の現状や後継者についての意識等、活発な意見が出された。また、「ヤング海女さん大集合」では、全国各地のヤング海女さん 9 名が登壇し、進行役は海の博物館館長が務め、海女さんになった理由や、今後の意気込み等について楽しく語ってもらった。最後に大会アピールとして、里海を創る海女の会会長が参加海女を代表して宣言文を読み上げた。海女サミット終了後、全員で記念撮影を行った。

開会



石原義剛海女振興協議会会長による開会挨拶



大口秀和志摩市長による開会挨拶



安倍昭恵内閣総理大臣夫人による来賓挨拶



鈴木英敬三重県知事による来賓挨拶



全国の海女さんや関係者など、約 180 名が参加した。



公務の為、途中退席する安倍昭恵内閣総理大臣夫人

記念講演



記念講演を行う谷村志穂さん



記念講演の演題「海女さん賛歌」



実体験などを交えながらの記念講演



谷村さんの話を熱心に聞く参加者

ベテラン海女さんと語りましょう！！



全国から 19 名のベテラン海女さんが登壇した。



インタビューの進行役、鈴木英敬三重県知事と江崎貴久。



発言する全国各地のベテラン海女さん



発言する全国各地のベテラン海女さん



発言する全国各地のベテラン海女さん



発言する韓国済州道の海女さん

ヤング海女さん大集合



全国各地のヤング海女さん9名と進行役の石原海の博物館館長



発言する全国各地のヤング海女さん



発言する全国各地のヤング海女さん



発言する全国各地のヤング海女さん

大会アピール



大会アピールを読み上げる、里海を創る海女の会会長の三橋まゆみさん

閉会挨拶



木下憲一鳥羽市副市長による閉会挨拶

集合写真



參考資料

海女サミット 2014

里海を守る 海女さんのつどい

in 志摩

岩手・宮城・千葉・盛岡・川崎・茨城・和歌山・石川・福井・鳥取
徳島・愛媛・岐阜・佐賀・大分・熊本・鹿児島(韓国)

平成26年10月25日(土)～26日(日)
第1日目(10月25日)
 ・記念放流 13:30～15:00(志摩市大王崎灯台下 須場の浜)
 ・海女シンポジウム 14:30～17:00(志摩市磯部生涯学習センター)
第2日目(10月26日)
 ・海女サミット 9:30～13:00(合歡の郷Hotel&Resort)
 参加料:無料 定員:各日200名程度

要
申込み

同時開催
 志摩市誕生10周年記念企画展
 「志摩の海女さん」展
 平成26年10月24日(金)～12月27日(土)
 会場:志摩市歴史民俗資料館 展示室
 (志摩市磯部生涯学習センター内)

■主催:志摩市・海女振興協議会
 ■後援:三重県・三重県教育委員会・鳥羽市・鳥羽市教育委員会・志摩市教育委員会・三重外漁業協同組合・鳥羽磯部漁業協同組合・志摩市商工会・鳥羽商工会議所・志摩市観光協会・鳥羽市観光協会・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構・中部地方環境事務所・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会
 ■協力:合歡の郷Hotel&Resort ■お問合せ先:海女振興協議会事務局(志摩市役所観光戦略室内) TEL:0599-44-0005 FAX:0599-44-5261
 写真:古谷 千佳子

あいさつ



志摩市長
大口 秀和

「海女サミット2014in志摩」の開催にあたり、地元志摩市を代表いたしまして歓迎のご挨拶を申し上げます。

今回で第5回目を迎える「海女サミット」を志摩市で開催できますことは誠にありがたく、全国各地をはじめ韓国濟州島から遠く志摩市までお越しいただきました皆様方に、心からご歓迎申し上げます。

志摩市は古くから「御食つ国」と呼ばれ、歴史や伝統文化、美しい景観や多様な生物の生息環境、美味しい海幸山幸の恵みなど、この地域ならではの素晴らしい自然環境が数多くあります。

その素晴らしい資源を後世に伝えるため、「新しい里海創生によるまちづくり」を重点プロジェクトとして位置づけ、「稼げる！学べる！遊べる！新しい里海」をキーワードとして掲げ、山から海までを一体の地域として捉えて豊かな自然環境の保全や再生に積極的に取り組むことを目指しています。

こうした生物多様性の保全に繋がる「里海づくり」の一翼を担う海女漁は、古くから受け継がれてきた世界の文化遺産でもあります。

本サミットは、全国各地から海女さんに集まっただき、交流や意見交換を通して種々ある課題について共有し、その解決に向けて皆で取り組んでいく大変重要な機会であると考えています。さらには、海女文化を全国、そして世界に発信すると共に、ユネスコの世界文化遺産登録に向けた大きな契機となることを願っています。

最後に、皆様の今後ますますのご活躍を祈念いたしまして、開催にあたりましてのご挨拶といたします。



海女振興協議会 会長
石原 義剛

海女の優れた漁場である志摩の地で、第5回「海女サミット」を開催し、日本各地と韓国濟州道から100人以上の海女さんが集まりました。海女のみなさんが楽しげに交流する姿を見られることは、ほんとうにうれしいことです。

いま海女さんの文化が国内ばかりでなく、世界的に御光を浴びつつあります。

女性による素潜り技術という特殊性や5千年を超えて続く歴史ばかりでなく、今日の時代が求めだしている「持続力のある」「環境に優しい」「人が助け合う」生き方を、海女さんが身につけて実践しているからです。

しかし、海中や海辺の環境は必ずしも良好ではありません。海女さんの社会環境も大きく変化しつつあります。これまで自然な流れの中で、自然任せに暮らしてきた海女さんに、これからは積極的な保全や改善への参加が求められるようになっていきます。

ぜひ、この機会にみんなで話あって、新しい海女の時代をつくってもらいたいと、切望しています。

また、元気で頑張る海女さんをみんなで力強く支援しましょう。



目次

海女サミット 2014

太古の昔から海を仕事場とし、素潜りで豊かな海の恵みであるアワビ・サザエをはじめとする魚介類や海藻の採取技術を伝承してきた「海女」。生命の源である美しい里海を守り、伝統を守りながら生活する「海女」を貴重な文化遺産としてとらえ、全国に発信するため「第5回海女サミット 2014 in 志摩」を開催いたします。

10月25日(土)

13:30~13:40 あいさつ

13:40~15:00

記念放流 (志摩市大王埼灯台下 須場の浜)
海女さんによるアワビ稚貝の放流

14:30~17:00

シンポジウム (志摩市磯部生涯学習センター)
テーマ:海女の後継者

海女の減少、高齢化、後継者不足は深刻な問題となっている。その根っこは単に、海女だけの問題でなく、漁村の女性減少そして漁村の人口減少の問題である。そこで、今回は海女に焦点を絞って後継者問題の解決策を探ろうと試みる。

【報告】 一海女の現状と後継者一 (30分)

石原 義剛(いしはら よしかた) 海の博物館 館長

【パネルディスカッション】

一海女の後継者をつくるために一 (1時間30分)

コーディネーター

塚本 明(つかもと あきら) 三重大学 教授

パネリスト

廣田 恵子(ひろた けいこ) 三重県雇用経済部長

植地 基方(うえぢ もとまさ) 三重漁連水産振興室長

和田 康紀(わだ やすのり) 三重大学 准教授

川又 俊則(かわまた としのり) 鈴鹿短期大学 教授

石原 義剛(いしはら よしかた) 海の博物館 館長

海女さんも参加の予定

10月26日(日)

9:30~9:40 あいさつ

9:40~10:10 **記念講演「海女さん賛歌」**

谷村 志穂(たにむら しほ) 作家
安楽・和具を舞台とした海女小説「いそぶえ」の作者による記念講演。

10:30~11:30

ベテラン海女さんと語りましょう!!

全国各地のベテラン海女さん達に語り合ってもらいます。

11:40~12:40

ヤング海女さん大集合

全国各地のヤング海女さん達に海女になったきっかけなどを質問形式で実施

12:45~12:50

大会アピール ・地元海女代表による発表

10月25日(土)

記念放流 13:30～

熊野灘に面した断崖絶壁に美しくそびえる白亜の大王埼灯台。その足元にある須場の浜。9月に大きなわらじを流す「わらじ祭」も行われることで有名です。

この浜に、地元志摩の海女約30名が、あわび稚貝1万個を海女サミットを記念し放流いたします。

放流するあわびの稚貝は、三重県水産振興事業団で大切に育てられた約3センチのあわびです。

海女たちはこの稚貝が大きく元気に育つよう願いを込めながらひとつひとつ丁寧に安全な場所に放流していきます。無事に大きく育ってくれますように願っています。

志摩の風物詩の一つである海女が潜る姿をご覧ください。



シンポジウム 14:30～

テーマ 海女の後継者

海女の減少、高齢化、後継者不足は深刻な問題となっている。その根っこは単に、海女だけの問題でなく、漁村の女性減少そして漁村の人口減少の問題である。そこで、今回は海女に焦点を絞って後継者問題の解決策を探ろうと試みる。

【報告】海女の現状と後継者



石原 義剛(いしはら よしかた)

1937年 三重県津市生まれ
1960年 早稲田大学文学部卒業
1960～69年 TV放送局勤務
1971年 海の博物館の創設準備を経て、開館とともに館長を代理
1973年 同館館長就任、現在に至る 現在、三重大学客員教授

【パネルディスカッション】海女の後継者をつくるために

コーディネーター



塚本 明(つかもと あきら)

三重大学人文学部教授
1960年、愛知県に生まれる。京都大学大学院文学研究科修了。専門は日本近世史。1995年に三重大学人文学部に着任。2008年頃から海女文化に関する共同研究と保全活動に着手する。海女振興協議会副会長(海女文化振興の会)、海女研究会共同呼び掛け人。

パネリスト



廣田 恵子(ひろた けいこ)

三重県雇用経済部長
1958年生まれ。名古屋大学経済学部経営学専攻卒業。
1980年三重県庁入庁
2007年政策部東海九州対策室室長
2010年総合事務局長兼補選課長
2011年生活・文化部助長・生活分庁総括室長
2012年東京事務所長
2014年雇用経済部長



植地 基方(うえぢ もとまさ)

振興室室長
1967年、和歌山県新宮市生まれ。三重県育ち。東京大学(現東京海洋大学)を卒業後、1992年、三重県漁業協同組合連合会に入会。指導部、指導員研修で真珠養殖研修等を担当し、2010年、漁協系団体でつくる三重水産振興会水産振興室長(指導部業務)兼任に至る。



和田 康紀(わだ やすのり)

三重大学人文学部法律経済学科准教授
一橋大学法学部卒業。1992年厚生省入省。厚生労働省大田官房企画官を経て、2012年4月から三重大学人文学部に出向。専門は福祉経済論、社会保障論。三重県雇用創出推進協会委員、三重県地域ジョブ・カード推進本部委員、みえメディアカルビレ企画推進会議委員、志摩市介護保険運営協議会委員を務める。



川又 俊則(かわまた としのり)

鈴鹿短期大学教授
1966年、茨城県生まれ。1997年成城大学大学院日本文化専攻修士課程修了。専門は社会学・社会学論・地域社会学。2005年鈴鹿短期大学に着任。主筆「数字にだまされない生活設計」「生活コミュニケーション学を学ぶ」「ライフヒストリーの宗教社会学」など。

10月26日(日)

記念講演【海女さん賛歌】 9:30～

志摩市を舞台にした海女が主人公の小説「いそぶえ」の筆者。

女性が社会に進出し一生懸命働くが故に、人を愛する時間が無かったり、人とのふれあいをなおざりにしてしまう女性がたくさんいる中で、海女の皆さんは結婚し、子どもが生まれ、愛し愛される対象が増えれば増えるほど強くなり、潜る技術も研ぎ澄まされ、自然との豊かな関わりを深めていきます。

今回の海女サミットでは「海女さん賛歌」と題し講演いたします。わたしは、海女さんに人間として、女性として、大きな魅力を感じています。



谷村 志穂(たにむら しほ)作家

1962年、北海道札幌市生まれ。北海道大学農学部にて応用動物学を専攻し、修了。

1991年に処女小説『アクアリウムの鯨』(八曜社/角川文庫)を刊行し、自然、旅、性などの題材をモチーフに数々の長編・短編小説を執筆。紀行、エッセイ、訳書なども手掛ける。

2003年、郷里の北海道を舞台に描いた『海猫』(新潮社)が第10回島清恋愛文学賞を受賞。

【ベテラン海女さんと語りましょう!!】

全国各地から集まった海女さんたち。海女サミットの主役であるベテラン海女さんたちはいつも明るく元気です。海女さんの周りにはいつも笑顔があふれています。

さて、今回の海女サミットでは鈴木英敬三重県知事に海女さんの輪の中に入っていただき、パワフルなベテラン海女さんと大いに語っていただきます。

【ヤング海女さん大集合】

全国各地で活躍している若い世代の海女さんたち。

次代を担う海女たちに「なぜ海女の道を選んだのか?」「海女になってよかったことは?」など、ヤング海女さんたちの素直な思いを聞いてみたいと思います。

海女漁は古くから伝わる伝統漁法です。ヤング海女さんたちは、この伝統を守ってくれる貴重な存在であります。

そんな若い感性を持った人たちが、この伝統文化をどのように伝え守るのか、ヤング海女さんの思いを紐解いてみたいと思います。



大会アピール

本日、2014年10月26日、「海女サミット2014 in 志摩」が全国及び韓国濟州島から「新しい里海のまち・志摩市」に参集し、盛大に開催されました。

私たち海女は、太古の昔から美しい里海を仕事場とし、里海を守りながら生活してきました。

豊かな自然の恵みであるアワビ・サザエをはじめとする魚貝類や、海藻類を素潜りで採取する技術、それぞれの地域での生活様式、慣習、歴史などの情報交換をこのサミットの中で確認することができました。

しかしながら、海女漁の技術は後継者不足等により後世に残していくことが困難な状況になってきています。

このサミットに参集した海女達は、自然環境の保護や海女漁技術の向上に関する情報交換を今後も続けることにより、海女文化と伝統を守り、全国に発信していくとともに、生命の源としての美しい里海を守ること、発展させること、活性化させることに力を尽くすことを決意し、そのために世界に誇る海女文化として、ユネスコ無形文化遺産登録に向け前進させることをここに誓います。

2014年10月26日

海女サミット2014 in 志摩 参加海女一同

伊勢志摩 近鉄リゾート

ホテルや旅館、テーマパーク、ゴルフ場、水族館、観光船など、
 多種多様な宿泊、アミューズメント施設を併せ持つ
 近鉄グループの複合リゾート「伊勢志摩 近鉄リゾート」。
 伊勢志摩の雄大な自然や新鮮な海の幸を楽しみながら、
 上質なひとときをご堪能いただけます。



青島堂生食と青島エスパークルーズ

詳しくは **伊勢志摩近鉄リゾート** **検索** **近鉄**



合歓の郷ホテル&リゾート

“伊勢志摩の恵みあふれる「五感を潤す太陽と森のリゾート」”

森と海に囲まれた自然豊かな複合型リゾート。
 宿泊施設のほか、多様な生き物や花木などの自然が織り成す
 「里山水生園」を始めとする様々なビューポイントが存在し、LPGA協定の
 ゴルフクラブやマリナを所有するリゾート施設として、その広大な敷地と
 四季折々の自然を活かした体験プログラムやフィールド&マリンアクティ
 ティでお楽しみいただけます。



合歓の郷ホテル&リゾート | 〒517-0403 三重県志摩市淡島町字子2992-3
 www.nemuro-sato.com | TEL:0599-52-1111 FAX:0599-52-0001

Shima

ISHIMA NATIONAL PARK



とほとほくっ、ってハッピーコンシャス♡
 わたしが幸せになれる時間

農水産物直売所&土産ビュッフェレストラン



鳥羽マルシェ
 Toba Marché

～地域が誇る農水産物と健康をお得に分けします～



(株)アサヒ鳥羽マルシェ 営業部 伊勢志摩事業部
 〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽一丁目2-5-42 TEL:0599-21-0302



三重県観光キャンペーン

～実はそれ、ぜんぶ
三重なんです!～

平成25年4月～平成28年3月

キャンペーン期間中、95のみえ旅案内所で
三重の旅がもっと楽しく、もっとお得になる
パスポートを発給します。このパスポート1冊で、
みえ旅の楽しみ方がさらに広がります!
「みえ旅パスポート」でLet'sみえ旅!



**1 「みえ旅おもてなし施設」で
使えるクーポン特典**

850軒を超える「みえ旅おもてなし施設」で
「みえ旅パスポート」を提示すると、
割引やプレゼント等の
おもてなしサービスが受けられます!

※「みえ旅おもてなし施設」
協力施設最新情報は、
本キャンペーン公式サイトで
ご確認ください。

このステッカーが
目印だよ!

**2 県内各地を楽しく巡る
スタンプラリー**

県内で観光を楽しみながら、「みえ旅案内所」に
立ち寄って「みえ旅パスポート」にスタンプを集めると、
特産品等のプレゼントが当たる抽選に応募できます!

県内5エリアを
めぐろう★

北勢 中勢 伊勢
伊賀 桑名

3 ステージアップすること、プレゼントがグレードアップ!!

1st ステージ → 2nd ステージ → プレミアム ステージ

3個以上
スタンプ押印

2エリア以上で
6個以上
スタンプ押印

3エリア以上で
9個以上
スタンプ押印

2nd・プレミアム
ステージは、応募時に
三重の旅で使った
宿泊・飲食・おみやげ等の
5,000円以上の
レシートが必要です。
※競選の場合はパスポートに
レシートを封入してください。

スタンプが集まったら、「みえ旅案内所」で次のパスポートと交換または郵送!

お問い合わせ先・パスポートの郵送先 _____

三重県観光キャンペーン 推進協議会事務局 〒514-8570 三重県津市広明町13番地 三重県庁観光誘客課内
【TEL】059-224-2282 【Mail】mie-cp@pref.mie.jp



鈴木知事（前列左から6人目）の質問に答え、鐘の響きなどを語る海女たち＝志摩市浜島町の合歓の郷で



海女の魅力、課題語る

志摩サミット2日目、閉会

交流を通じて海女漁の振興を目指す「海女サミット」は二日目の十六日、志摩市浜島町の合歓の郷ホテルリソートで、海女たちの座談会を開いた。ベテランと二十代の海女たちが、それぞれの視点から仕事の楽しさを語った。（丸山雄生）

サミットは、市と地 漁業権を取るのが大元自治体などによる「変」など、後継者育成、海女振興協議会の主に向けた課題も挙がった。全国十府県と韓国、一泊州島から百四十人、鳥羽市神島の藤原朋代さんが参加して、代さん（左）は「自分たちの海女が参加して、ちが先達たちから引き継いでいくように、将来もは、六十代を中心九 若い人たちが漁を続 県の二十人が参加 鈴、海の資源を有効に 木英知事らが進行を 活用してほしい」と期 務めた。「先達に教え 待を寄せた。 られるより、経験を 韓国・濟州島から参 えていくのが楽しい」 は「海女にならないと 「資源が少なく収入は 減少すると言われて始 めたが、それでも一 めたが、今では、夫が 度やうたはまっすし いるくても良いが、海 女」を魅力を語っ 女漁をしないを生きて ます。「一方で、海女にな っていく」と話し、会 場を満ちさせた。

二十代の座談会に は、五県の九人が参 加。海の博物館（鳥羽 市）の石原義剛館長の 質問に答え「経験が積 んでいけるようになっ てきた」「初めは危険 な仕事と心配してた 周囲の人たちも、応援 してくるようになった」 など発言した。 海女を描いた小説 「いでえ」で知られ る作家の谷村志穂さん の「海女さん貸歌」と 題した講演もあった。 鈴木知事は「二日間 で漁期以外の仕事の確 保や、漁業権の取得な どさまざまな課題が指 摘された。海女の後継 者づくりは、地域を守 ることでもある」と話 した。

サミットは、自然環 境の保護や技術向上に 関する情報交換を続 け、海女文化を守る 「を趣旨とする大会、 ヒールを採択し、閉会 した。

平成 26 年 10 月 27 日 中日新聞 三重総合

海女を世界遺産に



全国各地の海女らと語る鈴木知事(中央)＝志摩市浜島町の合歓の郷で

「登録向け前進」宣言

140人集う 志摩でサミット閉会

「志摩」全国十府県から約百四十人の海女が集い、海女文化の継承を目指す「海女サミット」(海女振興協議会主催)は十六日、志摩市浜島町合歓の郷で安倍晋三総理夫人の昭恵さんと鈴木英敬知事を迎え、二日間の日程を終えて閉会した。鳥羽志摩の海女でつくる海女保存会の三橋まゆみ会長が「海女文化と伝統を守り、国連教育科学文化機関(ユネスコ)世界無形文化遺産登録に向け前進させると大会宣言を読み上げ、採択した。

韓国・濟州島からも参加

昭恵夫人は「海女は世界 けや楽しさなど思いを聞い の宝だと主人にも伝えた。 たい。自国を持って世界に発 鈴木知事はサミット終了 後の会見で、「海女の交流 の深まりにサミットの意義 を感じる」「後継者の課題 を行政や地域が協力する必 要性を感じた」と述べ、 海女三人と一緒に壇上に上 文化財の保護や漁業振興、 魅力について語り合った。 また、子育てをして 後、「地域ごとに課題があ 地域を守り、海で収入を得 分らない。サミットの大 姿として全国に発信した 切さを感じたと述べた。い」と述べ、海女の知名度 向上と国文化財登録への意 欲を示した。(下村恵美)

平成 26 年 10 月 27 日 伊勢新聞 15 面

世界に誇る文化残したい

志摩「海女サミット」でアピール

海女文化を発信し、継承して」と志摩市で開かれた「海女サミット」は「世界に誇る文化が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録されるよう前進させる」とした大会アピールを採択して閉幕した。アピールは他に、海女の技術が「後継者不足などにより後世に残していくことが困難な状況



志摩市商相夫人（左）手前も、加して開かれた「海女サミット」。

だ」と訴え「海女文化と伝統を守り、全国に発信していく」と誓った。サミットでは、海の博物館（鳥羽市）の石原義嗣館長が海女の減少傾向を紹介し、アワビの減少や収入の不安定さが背景にあると指摘。地域の女性が職業に誇りをもちたいと希望しても、漁業権を取得することが困難な実情も挙げた。



「海女サミット」のテーマイベントに参加した海女の姿。志摩市

出席した有識者は、地域の外から人材を確保する必要があると主張したが、現役の海女からは「地域ごとの不安の声も上がっている」と訴え「海女文化は日本の宝、外国でもアピールしたい」と強調。山口県の海女と交流があるという昭恵夫人は話者団に「日本と韓国にしかない海女文化は、女性の歴史という意味でも大切に」と話した。サミットは25、26日に開かれ今年で5回目。海女総数が約1万9千の海女約140人が参加した他、韓国・済州島の海女3人を招待した。

平成 26 年 10 月 28 日 産経新聞 三重版

お祝いメッセージをいただいた方々

- | | |
|---------|--------|
| 文部科学大臣 | 下村博文様 |
| 衆議院議員 | 三ツ矢憲生様 |
| 参議院議員 | 芝博一様 |
| 参議院議員 | 吉川ゆうみ様 |
| 三重県議会議員 | 青木謙順様 |

主催：志摩市・海女振興協議会

後援：三重県・三重県教育委員会・鳥羽市・鳥羽市教育委員会・志摩市教育委員会

三重外湾漁業協同組合・鳥羽磯部漁業協同組合・志摩市商工会・鳥羽商工会議所

志摩市観光協会・鳥羽市観光協会・公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構

中部地方環境事務所・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会

協力：合歓の郷 Hotel&Resort

制作：有限会社オズ 海島遊民くらぶ